

広報きたうら



No.204

昭和54年3月31日発行・発行と編集
茨城県行方郡北浦村役場 ☎02915-2111

水と緑の豊かな水郷田園都市 水と緑の豊かな水郷田園都市 水と緑の豊かな水郷田園都市 水と緑の豊かな水郷田園都市 水と

54年度予算決まる

一般会計	18億6,125万円
国民健康保険	4億6,527万2千円
老人センター	6,335万6千円
簡易水道	3,375万6千円

水と緑の豊かな水郷田園都市 水と緑の豊かな水郷田園都市 水と緑の豊かな水郷田園都市 水と緑の豊かな水郷田園都市 水と緑の豊かな水郷田園都市



▲ 住職から観音座像について説明を聞く（小幡観音寺境内で）

村内の史跡めぐり

春風によってサイクリング

小幡の観音寺・虚空蔵尊・自性寺へと
村内を一周し、7ヶ所の史跡めぐりをし
ました。身近にあっても知らなかったり
説明を受けながら遠い昔にかえって勉強
しました。戸外はすっかり春。ペダルも
軽く楽しいサイクリングの一日でした。
（三月の母と子の公民館活動より）

柱は、産業・道路・教育

農業振興／三和小改築・要小プール／中学校も改築設計へ

◀ 改築の決まった三和小学校



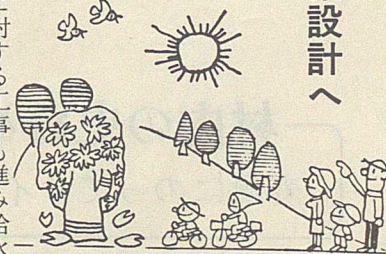
54年度の予算
総額24億2,363万4千円でスタート
一般会計は18億6,125万円の12.7%増

五十四年度の予算は、四つの会計で総額二十四億二千三百六十三万四千円で議会の議決を受け、新しいスタートをすることになりました。

この予算は、昨年度の当初から比べると、簡易水道施設の完成などによる事業費の減などで、約一億二千万円くらい落ちていますが、一般会計をはじめ、内容的には振興計画に基づき着実に事業を進めて行きます。

予算編成にあたっては、国県の細部にわたる確かなことは見定められませんでした。国における昭和五十四年度の地方財政計画の規模三十八兆八千四百億円を参考に、地方交付税、国県支出金等の財源を中核としながら、村の振興計画に基づいた諸事業を検討しました。

経常的経費の規模を極力抑制するよう節減合理化に努め、投資的経費については、財源事情の許す範囲内で、できる限り住民生活の充実、社会資



本整備推進など、経済情勢に適切に対応する事業の規模を確保し、長期的視野に立つて編成しました。

具体的には、六つの重点項目をあげ進めて行きますが、予算の総額十八億六千二百二十五万円で、前年当初予算に比較すると、二億九千四百四十万十二・七%の増になります。

国民健康保険特別会計予算は、性質上医療費の動向を見ながら予算編成にあたりました。前年当初比千九百二十八万円の減で、総額は四億六千五百二十七万二千円としました。

老人福祉センター特別会計予算は、前年の実績と一般会計の財政規模を考慮して千四百万円を繰入れ、総額を六千三百三十五万六千円としました。前年当初予算に比較して九百八十五万六千円、十八・四%の増で運営します。

簡易水道事業特別会計予算は、昨年から新規事業として着手しましたが、現在計画地

区に対する工事進み給水を開始しています。区域の拡張と内容の充実を図るため、一般会計から二千二百六十二万七千円を繰入れ、三億一千九百三十七万一千円の減で、総額を三千三百七十五万六千円としました。減額の大きなものは国県の施設整備費等で、今後は、使用料・繰入金等を中心に運営してゆきます。

一般会計の六つの重点事業については次ページにあげ、さらに、特別会計予算についても、歳出内容（事業）の概要をあげました。

新年度も、みなさんのより一層のご理解とご協力をうけながら、「水と緑の豊かな水郷田園都市」づくりに取り組んでゆきますので、よろしくお願いします。

重点事業 6

交通体系の整備
三百一十七万七千円

○危険箇所へカーブミラー（二十基）・ガードレールを設置
○安全協会など関連団体の育成

産業の振興
二億四百三十二万六千円

○農道整備（稲ヶ谷・小貫地内）と補修事業
○転作のための土地改良を行う水田利用再編条件整備事業
○機械化合理化や畑地改良を目的に畑作高度営農団地育成事業
○その他干ばつ対策、病虫害防除、食肉センターなどの畜産振興などの諸農業振興事業
○土地改良の農業構造改善事業、地籍調査事業（継続）

地方道路の整備
一億三十八万八千円

○三和小学校の防音改築工事と敷地造成工事
○要小学校のプール新設工事と敷地造成工事
○中学校の改築実施の設計委託
○村民運動場の野球場の整備
○幼稚園庭の整備

教育施設の整備
二億六千八百八十万六千円

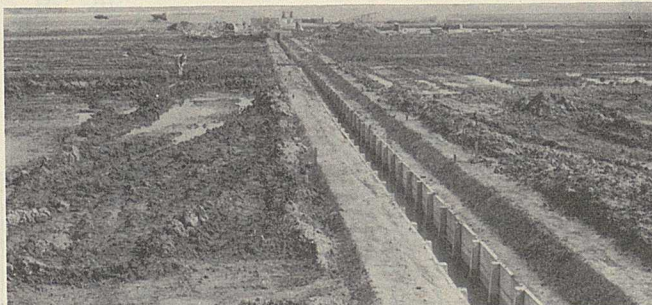
○ポンプ自動車一台
○積載車四台
○その他貯水槽五基など

消防施設の整備
千九百六十五万四千円

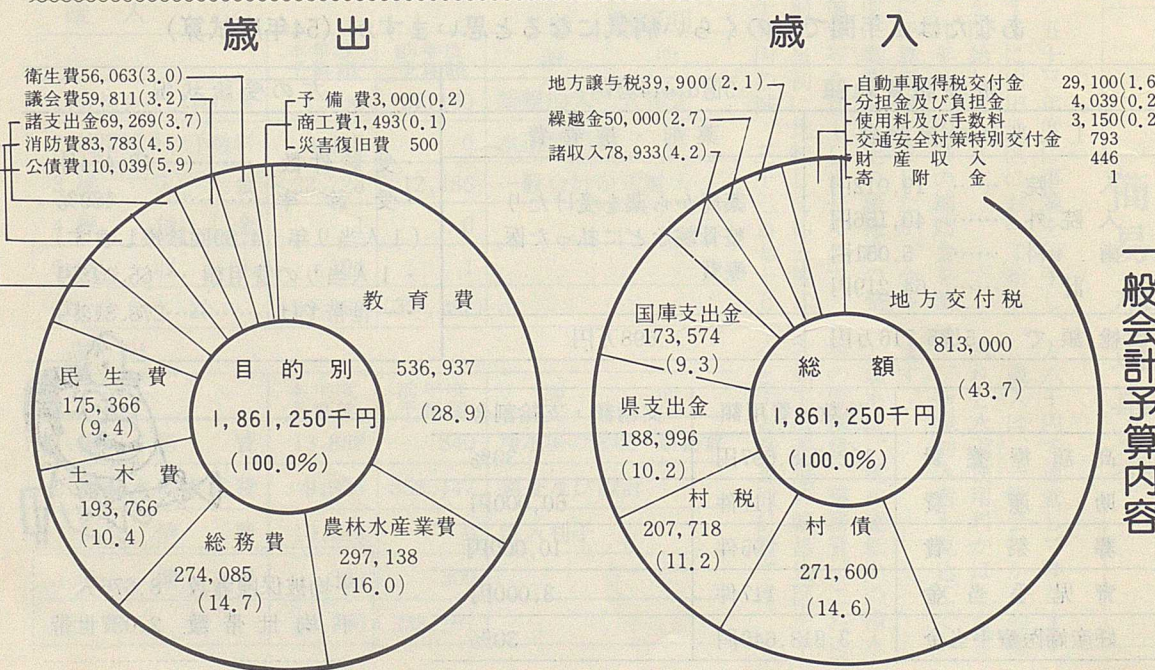
庁舎
五千四十八万五千円

○庁舎が完成したので、継続事業としての庁舎外構工事

進む土地改良
(繁昌地内で)



一般会計予算内容



昨年利用した人は 17,533人

宿泊 …… 4,883人

その他 …… 12,650人

(S53・1・1～S53・12・31)

▶センターで楽しいひとときをすごす老人(老人大学レク大会)



歳入 (単位千円)		
	本年度予算額	前年度予算額
1.県支出金	20	20
2.繰入金	14,000	10,000
3.繰越金	1,500	230
4.諸収入	47,836	43,250
合計	63,356	53,500

歳出		
	本年度予算額	前年度予算額
1.総務費	37,324	28,353
2.施設費	21,943	21,058
3.公債費	3,789	3,789
4.予備費	300	300
合計	63,356	53,500

歳入 (単位千円)			
	本年度予算額	前年度予算額	説明
1.分担金及び負担金	1,600	27,160	新規加入の負担金
2.使用料及び手数料	9,235	0	水道使用料
3.繰入金	22,726	12,486	一般会計から繰入
4.繰越金	1	0	
5.諸収入	194	1	
合計	33,756	(353,287)	

歳出			
	本年度予算額	前年度予算額	説明
1.総務費	13,888	840	浄水場の管理・事務費
2.簡易水道事業費	9,325	352,147	調査及び設計
3.公債費	10,243	0	借入利子
4.予備費	300	300	
合計	33,756	353,287	

昨年のセンター利用者は、約一万七千人を数えることができました。

五十四年度も、一般会計から一千四百万円の繰入れを行い、総額六千三百三十五万六千円、十八・四％の増で運営してゆきます。

歳入は、繰入金とセンターの利用収入金が大部分です。歳出は、総務費に昨年に続いて老人の一泊招待の費用と、人件費、事務費、運営委員会費などを計上しました。施設業務費は、営業のための飲食

材料費、燃料費、調理流台購入費などになっています。

○主な歳出

- ・老人招待 百四十五万五千円
- ・調理場増築・排水工事費 百万円
- ・調理流台購入費 六十九万二千円
- ・飲食材料費 千五百万円
- ・売店材料費 二百五十万円
- ・燃料・光熱水費 二百八十二万円
- ・広告料 十五万円
- ・敷地借上料七十九万六千円
- ・運営委員会費七十一万円

五十三年度に事業を着手し、すでに山田地区において給水を開始しています。

昨年は、国庫の補助金を基に予算編成しましたが、今年度は事業遂行上の諸施設の整備費等を計上しませんでした。前年当初に比較して約三億二千万円の減、三千三百七十五

万六千円で運営してゆきます。

歳入は、一般会計からの繰入れと水道使用料がほとんどで、新規加入者も見込んでいます。

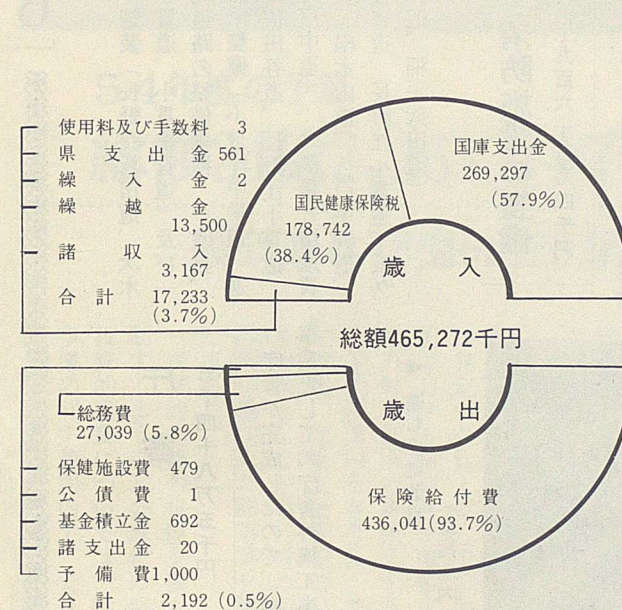
歳出は、現在運転中の浄水場の管理費、事務費。これに次期工事予定の繁昌地区を中心とする調査設計費です。

老人福祉センター

簡易水道事業

特別会計

国民健康保険の予算は前年よりやや減額になりました。しかし、また医療費の増加傾向がでてきており安心できません。水道事業は一部給水を開始しており、水不足から解消されたと思います。54年度は、本格的な事業運転と同時に、つぎの計画にむけての調査設計を進めてゆきます。老人センターは、老人会・敬老会そしてみなさんの利用をいただき順調に運んでいます。なお、老人の一泊招待は、昨年に引き続き実施しますので楽しみにしてください。



新年度予算は、前年当初に比較して千九百二十八万円の減になりました。

これは、五十二年度に医療費が異常なまでに増大した結果によるものです。五十三年度も最終補正で減じましたが、現在になってまた医療費の伸びが現われてきています。この会計の性質上、歳出のほとんどが医療費に関する内容であり、今年度もまた、約四億三千六百万円、九十四％の支出が当てられています。他は、人件費と疾病予防費・食生活改善推進事業費などを計上しています。

なお、下に一年間にはどのくらい医療をうけるのかを試算したものをあげておきますので、参考にしていただきたいと思います。

国民健康保険

あなたは1年間でどのくらい病気になると思いますか(54年度試算)

療養諸費総額		5億6,414万円	左の受診状況
1人当りの診療費		薬剤・療養費	・受診件数 …… 42,434件 ・受診率 …… 489% (1人当り年 4.89回診療します) ・1人当りの費用額 … 65,023円 ・一世帯では …… 278,312円
入院 ……	19,012円	薬局から薬を受けたり 整骨院などに払った医療費	
入院外 ……	40,156円		
歯科 ……	5,051円		
計 ……	64,219円		
総額で	5億5,716万円	698万円	

	件数・費用額	支給額・支給割合
高額療養費	102,768,697円	30%
助産費	117件	60,000円
葬祭費	95件	10,000円
育児手当金	117件	3,000円
妊産婦医療手当金	3,818,640円	30%



平均被保険者数 8,676人
平均世帯数 2,027世帯



平均被保険者数 8,676人
平均世帯数 2,027世帯

おもな事業の概要

目的別歳出予算についてのあらましです。補助金・負担金はできるだけ省きました。

議会費	議会費	5,981万円	議会の運営・議会広報発行
総務費	総務管理費	1億9,660万円	庁舎外構工事・交通安全対策・防犯対策・広報週報発行・行政アンケート・敷地借上料
	徴税費	4,468万円	税金の賦課徴収経費・完納奨励金・納税協力員手当・計算センター
	戸籍住民基本台帳費	2,097万円	戸籍事務
	選挙費	649万円	啓発・選挙費（県知事・村議会議員・農業委員・土地改良区総代）
	統計調査費 監査委員費	467万円 68万円	指定統計調査 財政執状況等の監査
民生費	社会福祉費	1億2,294万円	国民年金事務・慰霊祭・老人健康調査・老人クラブ助成・老人福祉（家庭奉仕・敬老会・金婚祝・医療補助・愛の定期便・福祉バス購入）・医療費補助・老人ホーム負担金
	児童福祉費 災害救助費	5,093万円 150万円	こども会育成・児童手当・青少年対策・保育児童補助 災害救助
衛生費	保健衛生費	5,606万円	各種検診・委託料（ゴミ・し尿）・母子センター運営
農林水産業費	農業費	2億7,303万円	農業委員会運営・空中防除・畜産・土地改良・農道・地籍調査・農業振興補助
	林業費 水産業費	2,332万円 78万円	松くい虫防除・林道補修・しいたけ団地育成 水産振興
商工費	商工費	149万円	商工会育成
土木費	土木管理費	4,387万円	自動車購入
	道路橋梁費 住宅費	1億4,667万円 323万円	道路工事・用地買収・人夫賃・原材料購入 修繕料・返還金
消防費	消防費	8,378万円	団員報酬・ポンプ自動車購入・ホース更新・操法競技会・災害対策・広域消防
教育費	教育総務費	4,084万円	健康検査・教材費・要保護準要保護児童生徒扶助料
	小学校費	2億9,100万円	三和小防音改築・要小プール建設・施設整備・備品購入
	中学校費	2,654万円	改造実施設計・地質調査・施設整備
	幼稚園費	3,948万円	通園バス委託・駐車場整備
	社会教育費	2,822万円	各種教室開講・成人式・芸術祭・新生活運動・自動車置場設置
	保健体育費	1億1,086万円	村民運動大会・学校給食・野球場整備
災害復旧費	土木災害復旧費	50万円	災害復旧工事
公債費	公債費	1億1,004万円	村債償還金・利子
諸支出金	普通財産取得費	3,104万円	土地購入費（三和小）
	特別会計繰出金	3,673万円	老人福祉センター・簡易水道
	災害援護資金貸付金	150万円	災害援護資金貸付金
予備費	予備費	300万円	

改正

定例会へ提案し決まったこと

幼稚園も五月から給食開始

園長は専任になり、通園バスを二台に

小中学校はすべて完全給食になっていましたが、残されていた幼稚園も、五月から給食を開始することにしました。うことで、時間的にもたいへん父兄からの要望もたいへん強く、また、園舎も改築して設備等も整いました。四月か園長は、いままで兼務にな

農業委員会を独立

公民館に係長など職員定数を改正

事務量が全体的に増えている中で、事務の効率的な推進と農政事務の円滑化を図るために、産業課から農業委員会を独立します。公民館にも、

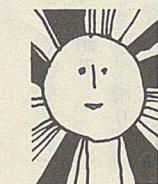
障害者専用住宅に資金の貸付

障害者や障害者と同居する世帯に対して、障害者の居住環境を改善するために専用居住室を造る場合、必要な経費を貸付けます。
貸付限度額は百二十八万円、利率年七％、償還期限は十年以内です。

額八万円。村議会議員の期末手当を百分の二百から百九十に改めました。

・山田地区簡易水道事業の実施工事費が、道路復旧工事の減額、給水管工事を配水管工事にふりかえたことなどによって、契約金額に二百五十四万六千円追加、二億八千六百十四万六千円に変更しました。

補正予算



今年度最後の補正を行ったもので、現在まで実施してきた補助事業等の完結によるものと、事業全般にわたるしめくりをしました。それぞれの会計の歳出を見ながら、説明します。

○一般会計

千四百八十五万六千円を減額し、予算総額を十九億五千九百三十万五千円としました。〈主な歳出〉

○議会費
議長交際費 十万円
議員報酬 四十八万一千円減
○総務費
母子センター改修工事費

村図カラー写真製作委託料 百三十万円

村長交際費 二十万円
焼却炉 十八万円
カーブミラー六基 十八万円
消耗品費等 十二万一千円
税奨励金 八十万円減
印刷製本費・他 百八十八万七千円減

○民生費

医療福祉費 二百八十二万六千円
ボランティア活動推進費補助 十万円

老人医療費

六百四十九万五千円減
消耗品費等 十三万円減

○農林水産業費

補助金（麦作集団育成・生産組織整備対策・畑作高度営農団地育成・養蚕団地育成・集出荷所設置・水田利用再編整備推進・水田裏作飼料生産） 千二百四万三千円
松くい虫駆除事業委託料等 四百八十六万九千円

○商工費

県信用保証協会出えん金 四十八万八千円減
電話債券・他十九万二千円減
進入道路敷購入費百二十万円
車購入代等 七十二万四千円
竣工記念品代 三十万円
消耗品費等 三十七万円

○国民健康保険 二千八百万円減
六千三百七十万三千円を減額し、四億二千四百五十七万三千円の予算総額としました。〈主な歳出〉

療養給付金 五千四百三十九万八千円減
高額療養費 九百八十五万四千円減
基金積立金利子 三十二万九千円
妊産婦医療手当金 十六万円
臨時雇賃金 六万円

○老人福祉センター

飲食売店材料費二百五十四万円を追加し、予算総額を七千七百二十一万四千円としました。千七百二十一万四千円を減額し、三億七千四百七十五万九千円の予算総額としました。〈主な歳出〉

設計委託・工事費

千三百四十一万五千円減
県道復旧費 六百十六万五千円減
電話債券・他十九万二千円減
進入道路敷購入費百二十万円
車購入代等 七十二万四千円
竣工記念品代 三十万円
消耗品費等 三十七万円

村政懇談会を実施/4会場に81人

あわせて全世帯にアンケートを依頼



田畑の整備や道路・排水問題など広範な意見 隣家とも話しなく連帯感のなくなった悩みも

一月に村政懇談会を計画したところ、行戸・成田・三和・繁昌の四区で、延八十一人の方の出席をいただいて、活発な意見の交換をすることが

できました。この懇談会も、昨年から二回目を迎えました。みなさんがどうしたら住みよい、暮らしよい地域社会になるかを考え、家庭から地域へさらに全村に広げ、みんなの心と力を合わせて実行に移す、こんな願いをこめて「村政懇談会」を進めています。

今年、昨年と変わって区ごとの懇談会を計画しましたが、開催できたのは四区というだけで、非常に残念に思っています。つねに面識のない方と、ひざを交えて懇談したいと考えていましたが、多くの区で忙がしくて出席できませんというものでした。

今回の懇談会の席上での内容を、村の基本構想の六つの柱を中心にとり、五十四年度の予算に考慮したものや、基本的な考え方として述べました。なお、この内容は、村長・課長などで構成した企画会議としての意見です。

懇談の内容としては、村の基幹産業としての農業に対する基本政策や、田畑の基盤整備の問題、道路や家庭雑排水などの生活環境問題、保育や学校など広範に出ています。

また、特徴的なこととして隣の人も話さない状況の中で、意志疎通が十分にできず、区運営がうまくゆかなかつたり、生活改善などでみんなが悩んでいることが明らかにされています。社会という共同生活の中で、こういうコミュニケーションの欠落から、区で行事を計画したくてもまとまらなかったり、決めたこともなかなか守られないといったことがおきています。人と人とのつながりが薄れ連帯感が大きく後退している現状です。

問題の中には、個人の努力や、お互いの理解があれば解決することがけして少なくないはずですが、その部分を通りぬけ、いきなり行政側への要

請として表れていることがありまう。

現在は金の世の中と言われているくらいに、ほんとうに毎日の生活の中になくては生きてゆけないような事態にあることは事実だと思えます。しかし、その「金」のためにばかり目が走ってしまい、隣の人と話し合える時間が持てなかつたら、ますます悪い状態に落ちてしまわうでしょう。ほんとうに生活を豊かにすることができるといえるのか。私たちのめざすものは、豊かな住みよい環境の下で、裕福に暮らしたいということだと考えますが、そこに生活する人の心が貧しかったら、利己主義の人の集まりだったら、前へ進むことはできないでしょう。私たちは再度、人と人の対話、心のつながりというものを考えてみませんか。

行政を進める方としても、現状では不十分な点は多いと思いますが、みなさんにとっても、この北浦村、水と緑の豊かな水郷田園都市づくりを進めてゆきます。

今回は、懇談会の開催要領

くらしの豆知識



新しい衣類に柔軟仕上げ剤は不要

柔軟仕上げ剤は、衣類が新しい間は必要ありません。何回も洗たくして風合いが悪くなったり、帯電しやすくなったときに使います。洗たく用洗剤といっしょに使わないように。

両方の効果が相殺されるので最後のすすぎに使いまわす。

○表示濃度で処理は三分間。○かき回した方がよく付着します。○濃度、時間が多

くても効果は同じです。○おむつ、肌着、タオルは乾いてから手でもめばやわらかくなるので、使わなくてもすみます。

帯電防止の仕組み

吸湿性の悪い繊維は、静電気が水分を伝って逃げられないので、脱衣のときパチパチして不快です。そこで、繊維の表面に界面活性剤の新水基をつけると、水分を抱き込むので、繊維は電気の良導体とな

なり、帯電しなくなります。柔軟仕上げ剤の仕組み

機械に油をさして滑りをよくするのと同じ原理です。界面活性剤の親水基が繊維につき、表面には新油基の働きで薄い油膜ができます。柔軟剤の分子どうしの引力は、繊維どうしの引力の十分の一ぐらいいですから、ちよつと引つ張るとよくすべり、柔らかく感じるのです。

交通事故の相談は

遠慮なくどうぞ。無料で、専門の相談員が親身になって応じています。

・相談 九時半～四時半まで
・弁護士相談日 毎週水曜午後一時～四時

水戸自動車保険請求相談センターで行っています。(水戸市泉町奈良屋ビル八階 ☎ 〇二九二二六〇一六九三)

憲法週間 (五月一日～七日)

法守りみんな明るくよい社会!!

年金「特例納付」実施中 失われた権利を救済

現在実施している国民年金の、特例納付制度を知っていますか。この制度は、国民年金に加入しなければならぬのに加入していなかったり、加入していても、長期間保険料を滞納しているなどの理由で、将来老齢年金を受けることができないままにしまった人を救済するものです。今か

※特例納付の対象期間
昭和五十三年三月以前の、国民年金の強制加入者期間で時効になっている未納期間に限りです。

※特例納付の保険料額
一月につき四千円です。納付方法は、まとめて納めることもできますし、五十五年六月までの間に分けて納めるこ

ともできます。

※特例納付の実施期間
昭和五十三年七月一日から昭和五十五年六月三十日まで二年間です。この期間が過ぎますと、納めることができません。

すでに、この特例納付を利用して年金を受けられるようになった方も出ています。せっかくのチャンスですから、ぜひ年金の受ける権利を確保しましょう。

住民課国民年金係

【商工会】
サービスシール進呈中

商工会では、昨年十月に「北浦サービス会」を発足させ村内のみなさんへの感謝と商工業の発展を図っています。

黄色い看板のある加盟三十七店で買物をすると、百円に一枚づつサービスシールを差し上げています。

このサービスシールを集めると、数量によりつぎのような特典が得られます。

○台紙一冊で五〇〇円相当の商品と交換

○現金つかみ取り大会参加

○観劇・旅行へ招待

その他、みなさんの要望にこたえられるようなアイデアを企画しています。

買物は、ぜひサービス会加盟店を利用し、楽しみを倍加してください。

なお、サービス会へは商工会員はいつでも加盟できます。

等も検討し、多くのみなさんの出席がえられるよう努力したいと思います。なお、内容についても、より建設的な発言を期待しています。

1 基礎的條件の整備

繁昌通学専用道は土地改良で道路は協力をえて年次的に



〔検討〕

◆繁昌に専用通学道

村道の改良舗装

◆繁昌市街地区の交通混雑で学童の通学のために、裏道を新設し専用通学道にすることは、土地改良事業がスムーズに実施されれば、その設計の中に入れることが可能です。村道舗装で、行戸長沢線など巾員が5mに満たないところがあります。地域の状況により必ずしも5mには限定しません。しかし、待避所の設置が必要でしょう。

◆繁昌坂の旧道、成田新城間繁昌吉川間などについては、地域の要望や振興計画とも照らし合わせて整備します。また、道路の案内標識は、主要道路について簡易なものを、年次計画で設置します。

◆公共用地の確保

◆山田川入江を埋立て、公共用地を確保することは、将来検討します。ここに限らず、予測される下水処理場・公営駐車場・公園など必要性を見えています。

◆道路の清掃・こさ払い

◆道路清掃は、人夫一人当たり六百円の助成で、年二回、部落を単位に実施しています。奉仕作業で実施すべきだという意見もあるように、みんなで協力し、住みよい環境をつくるよう、一人ひとりの協力をお願いします。

◆こさ払いでトラブルが多いというのですが、やはりお互いの理解と協力をぬきにしては、作業が起きなくなってしまうでしょう。条例を設置すれば解決する問題とも思え

2 生活基盤の整備

繁昌の水道は55年度実施流さないで、家庭排水を道へ

〔実施〕

◆繁昌地区の水道

◆繁昌地区の簡易水道事業は五十四年度に調査設計を行い五十五年度に工事の実施を目指して準備を進めています。

◆家庭排水

◆家庭の雑排水が村道にたれ流しにされたり、用水路に入って環境を悪くしていますがまず第一に、排水そのものを

◆農村集団電話

◆農村集団電話から普通電話への切替は、電電公社が以前に切替のアンケート実施など、その準備を進めています。しかし、実際に切替え作業が行なわれるのは、五十五年度以降になる見通しです。

◆ゴミ捨て場とし尿処理

◆粗大ゴミ捨て場は、用地の確保と環境や資金面の問題が解決されれば設置が可能です。し尿処理施設は、将来必要になってくるものであり、現在下水道問題が論議されている

した観光開発ですが、現在これと言ったものはありませんので検討してみます。

流さないような方法を各個人が工夫してください。それだけが流さないようにしなければ、いつになってもきれいなならないばかりか、よごれる一方です。

◆今後の水道事業

◆簡易水道事業は基本的には全村を考慮していますが、水質の悪い湖岸から実施しています。現段階では、繁昌地区の次に、三和・成田・内宿地区を五十七・五十八年頃に計画しています。

3 福祉振興

児童館補助は一万五千元に

〔検討〕

◆児童館の維持費

◆維持管理費の補助は、部落の集会場など、他の施設の関連を考慮して検討します。なお、五十四年度の児童館への補助は、五千円増額して一万五千元を社会福祉協議会より助成します。

◆保育所の増設

◆保育所の増設は、定数の関係もあって、特定の区だけに設置できません。ただ将来は要望等を十分に検討して対処します。

◆総合病院

◆健康管理ということは、非常に大切な問題ですので、将来検討しなければなりません。

4 教育文化

米飯給食は週二回へ

三和小跡はちびっこ広場を計画

新生活運動をみんなですすめよう

〔実施〕

◆米飯給食

◆米飯給食は、新年度から週二回実施します。現状では委託炊飯工場の関係でこれ以上は無理です。自己炊飯方式も人員や施設の問題があります。米飯を家庭から持参してはという意見もありますが、カロリー計算・衛生・指導といった面で問題が多くあります。

◆三和小跡

◆鉄骨の新しい校舎一棟をミニ体育館として残し、ちびっこ広場（仮称）として利用する計画で進めています。

◆津澄に自転車置き場

◆津澄分館の敷地内に、高校通学生徒の自転車置き場を作るよう、新年度予算に計上しました。

〔検討〕

◆みんなバラバラ

◆新生活運動も広く強力に

5 農業振興

土地改良は区で努力推進中

松くい虫防除は54年も

米生産調整は希望後、割当に

〔実施〕

◆土地改良

◆基盤整備事業は、土地改良区が主体となって推進している

◆松くい虫防除と植林

◆松くい虫防除は、国・県の補助などにより、約九千立方

◆米の生産調整

◆昨年に続いて協力を願う

◆米の生産調整

◆米の生産調整

◆米の生産調整

◆米の生産調整

◆米の生産調整

◆米の生産調整

◆米の生産調整

◆米の生産調整

◆米の生産調整

◆米の生産調整

◆米の生産調整

◆米の生産調整

◆米の生産調整

◆米の生産調整

◆米の生産調整

◆米の生産調整

◆米の生産調整

◆米の生産調整

◆米の生産調整

ご協力ありがとうございました

行政アンケート1460枚・60%を回収

2,371戸の全世帯を対象に行政アンケートを実施したところ、みなさんの協力により、1460枚・61.6%（津澄65.9、武田63.4、要51.6）の回収をすることができました。今後も、より具体的な質問等を用意し、続けてゆく計画をしています。なお、集約した結果と、全体を通して感じたことを述べました。

村が基本構想を策定したことを、三割の方にしか知られていないということは、一回限りの広報では不十分で、定期的な登載が必要とされています。村の行政の指針は、この基本構想に基づいて行なっていることを、みんなに知ってもらわなければなりません。また、これに関連しますが、村政懇談会を、ほとんどの方が必要であると言っているにもかかわらず、反面、参加者がたいへん少ないということは、誰かがやってくれるだろうという、人まかせの行政の実態が浮き彫りにされています。地方自治を自らとらえ、行政の参加、推進をしていくことが課題ではないでしょうか。水と緑の豊かな住みよい田園都市づくりの成否も、ここにかかっています。

税の完納奨励金を現行でよいとする声が半数以上を占めているのは、この奨励金で、班の運営資金に当てたり旅行に使うなど、地域のコミュニティづくりには大きな役割を果たしており、その分を別に支出するのがより負担になってくるためでしょう。しかし、健康保険税にあつては、高いという重税感や、新聞などで報じられている医療制度の改善なども含めて、何らかの改正を求める意見が多くなっています。

農業を基幹産業としている北浦村ですが、わからないという意見も含め、八割以上の方が不満を表しています。特に、技術面では農家の努力により一歩先を進んでいます。販売面で、流通機構や価格の不安定などの現実の問題があげられると思います。また、国や県からの施策が補助金を通して散在的に拡がっていますが、将来の展望を持った農業の在り方というものが示されていません。国・県への強力な要請と、村が一体となった対応が迫られています。

水道事業の普及については、地域差が目立ちます。湖岸地帯では過去に水不足に悩み、良質の水を求める声が表われています。他地域では、まだ地下水の依存が強いようです。湖岸を中心に事業を実施するとしても、地下水も無限ではありません。次の給水計画を村全体から検討し、地域の要請にこたえられるような体制を整えておかねばなりません。

質 問	答	北浦村	津澄	要	武田		
1. 北浦村基本構想が策定されていることを知っていますか。	1.知っている 2.知らない	29.4 70.6	32.3 67.7	24.7 75.3	28.8 71.2		
2. 村政懇談会は今後の村づくりに必要である。	1.必 要 2.不必要	93.8 6.2	93.3 6.7	91.2 8.8	95.4 4.6		
3. 税金（村民税・固定資産税・軽自動車税）の完納奨励金を５％から３％に改正してはどうですか。	1.３％でよい 2.現行の５％でよい 3.廃止すべきだ	12.3 70.5 17.2	11.7 69.8 18.5	12.0 79.2 8.8	13.3 67.1 19.6		
4. 国民健康保険税の奨励金を廃止、あるいは３％程度にして税金の負担を下げられます。	1.３％でよい 2.現行の５％でよい 3.廃止すべきだ	19.0 51.4 29.6	16.8 49.5 33.7	16.3 67.5 16.2	22.4 45.7 31.9		
5. 国民健康保険事業は現在のままでよいか。	1.現在のままでよい 2.改正を求める	53.5 46.5	51.6 48.4	55.5 44.5	54.3 45.7		
6. 農業政策は現在のままでよいか。	1.よ い 2.悪 い 3.わからない	16.7 47.9 35.4	16.4 43.6 40.0	14.1 55.1 30.8	18.2 48.4 33.4		
7. 水田の農薬空中散布は。	1.従来通り２回の実施でよい 2.黄萎病防除（４月）だけでよい 3.イモチ病・ウンカ類防除（７月）だけでよい 4.必要ない	62.9 4.0 16.7 16.4	62.9 5.8 14.1 17.2	68.2 3.9 22.3 5.6	60.6 2.3 16.5 20.6		
8. 山田地区に村営の水道施設ができたが、将来全村に普及すべきだと、	1.思 う 2.思わない 3.わからない	42.1 37.1 20.8	50.0 27.7 22.3	33.9 47.0 19.1	38.6 41.3 20.1		
9. し尿処理施設やごみ処理施設は多額の資金を要しますが、将来は、	1.必要である 2.必要ない 3.わからない	77.5 11.7 10.8	79.2 10.2 10.6	71.4 19.8 8.8	78.9 9.3 11.8		
10. 青少年のシンナー・暴走族・万引等が社会問題になっていることを、	1.知っている 2.知らない	93.2 6.8	94.2 5.8	89.4 10.6	94.1 5.9		
11. 国民年金で特例納付を行っていることを知っていますか。	1.知っている 2.知らない 3.よくわからない	48.0 28.2 23.8	49.6 26.9 23.5	45.9 30.4 23.7	47.5 28.3 24.2		
12. 国民年金には老令年金のほかに、けがをしたときに受けられる障害年金や母子年金があることを、	1.知っている 2.知らない	71.8 28.2	72.3 27.7	68.2 31.8	73.0 27.0		
13. 米飯給食は週何回くらいがよいですか。 （数字でお答えください）	北浦村 津 澄 要 武 田	1回 9.9 1回 8.3 1回 20.1 1回 6.6	2回 13.3 2回 16.1 2回 9.6 2回 12.4	3回 29.5 3回 32.3 3回 33.2 3回 25.2	4回 6.8 4回 7.4 4回 8.1 4回 5.7	5回 22.9 5回 27.4 5回 23.0 5回 18.7	6回 17.6 6回 8.5 6回 6.0 6回 31.4
14. 米飯給食は完全給食と補食給食のどちらがよいですか。	1.完全給食 2.補食給食	73.7 26.3	70.3 29.7	77.4 22.6	75.1 24.9		
15. 新生活運動を進めていますが、ますます派手になっていることをどう思いますか。	1.祝なので現状でよい 2.強力に新生活運動を進め簡素化すべきだ	37.5 62.5	43.8 56.2	22.3 77.7	38.6 61.4		
16. 幼・小・中・高校生の交通安全に対する態度はどうですか。	1.良 い 2.指導を要す	26.2 73.8	33.0 67.0	15.9 84.1	24.7 75.3		



ふる里の行事を伝えよう

「正月おたのしみ大会」

舌つづみを打ちながら、いっしょになって唄ったり、踊ったりの楽しい一日でした。(楽しく遊ぶ児童たち＝写真)

出初式に

優良分団など表彰

正月恒例の消防団出初式は機械器具・服装の点検、そして分列行進をし、消火に万全の体制で臨んでいます。

また、昨年の操法大会の県優勝分団などの表彰を、次のとおり行ないました。

○優良分団表彰(茨城県消防協会) 第一分団(津澄)
○永年勤続功労特別表彰(知事表彰) 柏原久一郎・伊勢山一郎
○永年勤続二十年表彰(茨城県消防協会) 田所利昭・金山栄伸・高野昭明・高柳道夫・沼里正男
○茨城県消防協会行方支部長表彰 猪瀬正男・柏原久一郎
根本侃之介・池田雄悦・泉力伊勢山一郎・村上政衛
○感謝状(消防指令者寄贈) 猪瀬正男・柏原久一郎・根本侃之介・高橋建設

第六回村芸術祭終わる

来年もより多くの方の参加を期待します

六回目を迎えた村芸術祭は今年も盛会に幕をとじることができました。

みなさんからの力作が展示され、目を楽しませてくれました。また、民謡や民舞・剣詩舞など、年々参加者がふえていることをうれしく思っています。

今年新たに設けたつけもの展には、それぞれのアイデアを生かしたつけものが、色とりどりに展示され、終了後に販売して、そのお金を福祉のために寄附させていただきました。また、バザーにも、みなさんから多くの協力をいただきましたことを、あわせてお礼申し上げます。倉川芳子・柳町よし子さん(内宿)には、文化ししゅうの作品を公民館に飾らせていただきました。

今年は、書道・絵画の出品が少なかつたように感じます。来年も開催する予定ですから多くの方の参加を期待しています。

次に、入賞作品や状況をお

- 民舞大会 六十二舞
- 民謡大会 九十四曲
- 剣詩舞 八十四吟
- いけばな展 四十三点
- 小中学校美術展(習字・絵画) 百九十点
- つけもの展 七十六点
- 工芸展 六十一一点
- 俳句 百三十首
- 写真 二十二点
- 村長賞「砂丘」清水仁(内宿) △議会議長賞「秋の女」大久保貞男(内宿) △教育長賞「朝の海」一条善恵(小幡) △同「語らい」谷川太平(吉川) △公民館長賞「姉妹」細内一三(次木)
- △同「雪山」柳町幸正(繁昌) △同「河岸」人見偉策(吉川) △同「ポートレート」松信昌栄(吉川)
- 絵画 十一一点
- △村長賞「北浦」郡司久(両宿) △議会議長賞「鱈は学舎」沼田正(三和) △教育長賞「アップル」河野徳子(三和) △公民館長賞「婦人像」六笠秀雄(両宿) △

去る一月二十日北浦村立要小学校で、正月おたのしみ大会が行われました。

紺碧の厳冬空のもとに、一九九名(一学生から六年生まで)の元気な児童たちが、餅つき、なわとび、ハネツキ、タコアゲ、竹馬乗り、おみこし、ドンド焼きなどに大よろこびでした。

この行事は、同校が昭和五十二年から始めたもので今年

が三回目、古くから郷土に伝わった行事が、激しい近代化の波に消えつつあるとき、次代を背負う子供達に、ふる里の行事を伝えることにより、心のふれ合いを求め、真の豊かさ、を教えるため、人間性の回復を目的としております。

この日は、PTAの役員が中心となり、お父さん、お母さん達四〇余名が材料をもち寄り、雑煮餅、汁こもち、に

残雪の村内駅伝大会

北浦陸協が1時間22分57秒の大会新

第二十一回の北浦村内一周駅伝競争大会が一月十五日に行なわれました。

雪が残るたいへん寒い日でしたが、これをふりきるような好タイムが続出し、北浦陸協が大会新記録で優勝しました。昨年を二分四十五秒も短縮する記録でした。また、他のチームもよい結果を記録し、全体的に力が向上しています。

二回目を迎えたマラソン大会は、昨年より参加者がわずかに増えて百三十四人が走りました。しかし、一般男子と女子の参加が減ってしまいました。来年こそ参加してみませんか。

なお、田谷・山本・田村さんが好走し、大会記録を出しました。

マラソン大会

卓球大会

三月四日に開催した卓球大

同「湖」河野和子(三和) 信昌栄(吉川) △公民館長賞「花舞千年樹」土子文江(山田) △同「和歌一首」真家慶子(繁昌) △同「筑波山」山崎進由(行戸) △盆栽 五十七鉢

▽村長賞「唐詩」上妻珠希(小貫) △議会議長賞「唐詩」稲田稜禾(小貫) △同「唐詩」横瀬喜則(山田) △教育長賞「唐詩」大久保富雄(内宿) △同「唐詩」松

郡展に山野さんら入賞

今年の方行郡美術展覧会は公民館を会場に、一月下旬に開かれました。

各部門別の入賞者を紹介します。

○絵画 △優秀二席「磐梯」山野恵通(山田) △優秀三席「唐詩」

谷川太平(吉川) △佳作「唐詩」大原文市(山田) △工芸 △優秀一席「炬燵布団」倉川芳子(内宿) △優秀二席「文化刺しゅう」宮内知子(両宿) △優秀三席「文化刺しゅう」高橋正代(両宿)・倉川芳子(内宿)

駅伝

一般の部			
順位	チーム名	時間	総合順位
1	北浦陸協	1'22'57"	2
2	吉川クラブ	1'28'44"	5
3	Y. P. C	1'28'52"	7
4	山田長町クラブ	1'31'30"	8
5	役場 A	1'32'19"	9
6	三育クラブ	1'33'05"	10
7	行方北部消防署	1'35'47"	11
8	要煙草青年部	1'40'37"	12
9	役場 B	1'52'03"	13

中学の部			
順位	チーム名	時間	総合順位
1	北浦中 A	1'21'55"	1
2	三育中 A	1'26'46"	4
3	北浦中 B	1'28'07"	3
4	三育中 B	1'28'47"	6

マラソン

小学男子 (2km~34名参加)			
順位	氏名	時間	
1	田谷一浩	7分21秒	
2	石上祥光	22	
3	横瀬健	23	

小学女子 (2km~13名)			
順位	氏名	時間	
1	山崎照子	7分43秒	
2	根本たか子	8 00	
3	山野明美	30	

中学男子 (5km~37名)			
順位	氏名	時間	
1	山本晴夫	17分15秒	
2	泉稔信	18	
3	横田俊信	47	

女子 (3km~33名)			
順位	氏名	時間	
1	村山好江	12分59秒	
2	常世田道子	13 24	
3	高橋喜久子	29	

高校男子 (10km~2名)			
順位	氏名	時間	
1	梅原清一	39分03秒	
2	吉田安	38	

一般男子 (10km~12名)			
順位	氏名	時間	
1	斎藤美智正	35分56秒	
2	大場一則	36 49	
3	宇佐見芳春	37 07	

壮年男子 (5km~3名)			
順位	氏名	時間	
1	田村栄作	18分57秒	
2	椎木兵悟	20 51	
3	石上備規	21 08	



- 会は、中学校の部に他校の生徒も参加して競技をしました。残念ながらこの中学校の部には、男子団体戦で三位に善戦した以外は、他校に優勝をもつてゆかれました。
- その他の成績については、次のとおりです。(○印のなかの数字は順位です。)
- 小学校男子個人 ①内野英行(津澄) ②額賀浩(新城) ③岡部信義(新城)・辺田勝洋(津澄)
 - 小学校女子個人 ①成田礼子(新城、以下同じ) ②長峰恵美子 ③武田知子・武田敦子
 - 小学校団体 ①新城小 ②津澄小 ③要小
 - 一般男子個人 ①石井久雄 ②米谷秀雄 ③石橋徹男・人見偉策
 - 一般女子個人 ①池田和代 ②山崎豊子 ③岩本啓子・大和田博子
 - 壮年個人 ①前島文夫 ②鬼沢栄 ③横瀬瑞江

北浦子ども会育成会

県から優良育成会として受賞

二月二十四日、水戸市の文化センターで行われた優良子ども会等選奨式で、津澄小学校の北浦子ども会育成会（会長真家忠さん）が、優良育成会として表彰されました。

鹿行子連では

次木こども会などを表彰

これは、茨城県子ども会連合会が主催したもので、子ども会の育成に努力し、活発な活動が認められたものです。

今後、次期世代を担う子どもたちの育成に、おおいに

大野村公民館において鹿島・行方子連の優良子ども会等選奨式が行われ、次の方が表彰を受けています。

○優良子ども会

・次子子ども会（新城小）

会長五十野久友君六年）

・水帆子ども会（三和小）

・会長河野恵子さん六年）

・優良子ども会育成組織

・若葉子ども会育成会（小貫小）（会長横田壱弘さん）

・優良子ども会指導者

・石橋治男さん（要小子ども会育成会副会長）

・優良子ども会育成者

・塚本義行さん（津澄小子ども会育成会副会長）

善意の窓

幼稚園へ

○マキ四本 石上禎亮（山田）

○モミ一本 塙正恒（行戸）

○金一万円 内田まさ子（繁昌）

○同 高柳卓男（長野）

○同 真家幸恵（中根）

○文化刺繍 宮内知子（両宿）

○雑布百枚 繁昌老人クラブ

天寿会

津澄小学校へ

○朝顔苗百本 小笹忠（繁昌）

○松葉ボタン三箱 東山忠男

（小幡） ○手押車一台 松

沢書店（玉造町） ○雑布百

八十五枚・竹ホウキ二十一本

繁昌長寿老人会 ○理科教材

用ガラス六十枚 高橋恵一（

繁昌） ○労力奉仕 あかね

会（同） ○教材用ベニヤ板

一枚 小堤昭二（山田） ○

新聞作成資料一組 いはらき

新聞社 ○雑布五十枚 斎藤

たか（南高岡） ○写真額一

枚 市村芳郎（成田） ○雑

布二百十三枚・竹ホウキ三十

枚 吉川老人会 ○油絵五十

枚 吉川老人会 ○油絵五十

枚 吉川老人会 ○油絵五十

枚 吉川老人会 ○油絵五十

枚 吉川老人会 ○油絵五十

枚 吉川老人会 ○油絵五十



一月の日曜日に、就業改善センターの内部と庭の清掃をしてくれました。ごくろうさまでした。

きれいな施設で集会が開けることは、とても気持ちのいいものです。みなさんもよござずに使ってください。

横山さん

山田橋欄干を塗り直し

横山高次郎さん（潮来老人ホーム在住）は、ペンキのはがれてしまった山田橋の欄干を塗り直してくれました。隣の勢司彦雄さんも手伝ってくれきれいになりました。（左）



○遅れましたが、新年度の予算を発表しました。

○これから五十四年度の新しい仕事を始めるわけですが、執行に当っては、何よりもみなさんの協力が不可欠です。

○また、村政に対するより建設的な意見をお聞かせいただきたいと思っています。

○「対話と協調」が、単なる宣伝文句にならないよう、心気一転がんばってゆきます。

○これから忙がしい時期です。健康に気をつけて！

人口の動き

住民基本台帳調（2月末）

人口	11,254
男	5,591
女	5,663
世帯数	2,565
転入	20
出生	18
転出	10
死亡	11